

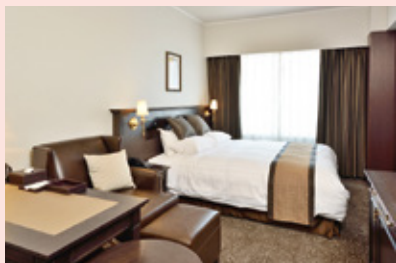


新潟・下越

食と文化の発信基地

ホテルイタリア軒

ホテルイタリア軒は、1874年（明治7年）夏、開港で活気づく新潟にやって来たフランス曲場団一行のイタリア人見習いコック「ピエトロ・ミリオール」の手により、洋食三軒（函館五島軒、上野精養軒、新潟イタリア軒）と称えられる「イタリア軒」は誕生しました。それから1世紀半、伝統と格式のくつろぎの空間を演出したホテルに生まれ変わり、多くの人々から愛された「イタリア軒」の洋食は、地の食材との共創を積み重ね、新潟の食文化として受け継がれています。大正時代に「ランチサービスメニュー」を新潟でいち早く取り入れた際に大好評だったと言われる「伝統のカレー」、ミリオールが伝えたおもてなしの味は「イタリア軒の味」として今も守られ続けています。自慢の洋食を提供している1F「レストラン・テマルコポーク」は旧館時代から受け継がれているステンドグラスがノスタルジックな雰囲気を漂わせています。明るい日差しが差し込む店内にてホテルならではの優雅なお食事をお楽しみいただけます。



また、イタリア軒の朝食は「じゃらん OF THE YEAR 2018」泊まって良かった宿大賞「朝食」(関東・甲信越エリア51/100室部門第2位)を獲得好評価をいただいております。館内には素材にこだわった四川・広東料理が楽しめる中国料理「SHIEN」(シーエン)、黒を基調にしたモダンな店内はゆっくりお寛ぎいただける空間を演出しております。



■ホテルイタリア軒

〒951-8061 新潟市中央区西堀通七番町1574番地
TEL.025-224-5111(代) FAX.025-224-5142

<http://www.italiaken.com/>

日本料理 割烹「螢」では、「食の宝庫 新潟」その豊かな旬の食材を活かし、全国からイタリア軒へお越しになられるお客様や日頃よりご愛顧をいただいておりますお客様にいつも満足いただけるように、四季折々の新鮮な食材をご用意しております。伝統と格式のイタリア軒にあつて、日本料理もまた、格調高く雅にしつらえており、数寄屋造りの清々しい佇まいはプライベートな個室から大広間まで幅広くご利用いただけます。当ホテルはこれからも、新潟の食と文化の発信基地としてお客様への発信力を高め、お客様が来館するたびに新しい発見をしていただき、従来あるホテルの癒しという価値観だけでなく、ワクワクするような、魅力あるホテルづくりをおこなって参ります。



中越・上越

デザインを通して

地域の文化を創造する

株式会社アド・クリーク

アド・クリークは、1982年の創業以来、広告の企画制作を主業務とし、チラシやポスターなどのグラフィックデザインから地域イベントの企画立案まで幅広く手掛けてきました。近年では、動画制作のほか、Webデザイナーを擁し、ホームページ制作やインターネット広告の制作・運用提案にも力を入れています。デザインに分類されるあらゆるニーズにお応えし、お客様の課題解決まで一貫してサポートできる社内体制を構築しています。

当社は、経営理念のひとつに「積極的に変化に挑戦する経営をする」と掲げてきました。変化とはデザインの在り方であり、顧客ニーズであり、時代そのものです。営業担当は「企画営業」という肩書きでお客様が抱える問題点や悩みを自分のこととして捉え、お客様ごとに企画提案を行っています。また、制作担当においても、お客様のイメージを的確にアウトプットできるよう、常日頃からデザイナー同士で意見を交換し合い、様々な変化に対応し得るデザイン力を養っています。

このように、顧客第一の姿勢を貫く営業担当と、お客様の伝えたいことを多彩に表現できるデ



■株式会社 アド・クリーク

〒941-0067 糸魚川市横町4丁目3番39号
TEL.025-553-0081 FAX.025-553-0419

<https://adclique.com/>



オンライン講演会

ザイナーによって、デザインの力で地域を盛り上げてきました。糸魚川市と上越市に拠点がありますが、距離を感じることもなく円滑に仕事を進めるために、イメージを言葉で伝える電話やメールといったコミュニケーションは欠かせません。

また、昨今のコロナ禍では、急速なオンライン化により、動画やWeb関連のご相談をいただくことが多くなりました。当社でもコロナショックを乗り越え地域を元気づけたいという思いから、Zoomを活用したオンライン講演会を開催するなど、時代に即した取り組みを自発的に企画しています。

Web広告、ホームページ制作、動画制作、SNS運用、マーケティング、ポスター・パンフレット・チラシ制作、イベント企画・運営等：それぞれ媒体が異なっても、地域色のある企画やデザインはその地域に根差してこそ創り上げられるものであると自負しています。お気軽に当社にご相談ください。

広告企画会社として、販売促進の課題解決にお応えできる企業であり続けるために、これからも、お客様の思いをカタチにする、デザイン制作を目指していきます。

耳より情報

もしもし検定4級の概要

試験実施主体：公益財団法人日本電信電話ユーザ協会
後援：日本商工会議所
検定試験方法：筆記検定試験
試験の内容：マークシート方式の筆記試験
出題の範囲：3級教育課程と同レベルとする。

- ・教養ある社会人として欠かせない人格的マナー
- ・話し言葉・聴くこと・話すこと・気遣うこと
- ・敬語と言葉遣いの基本
- ・発声・発音の基本
- ・電話と対面コミュニケーションの違い
- ・様々なコミュニケーションツールと電話メディアの特徴
- ・個人情報保護法(概要)
- ・電話応対の基礎
- ・電話の受け方かけ方、取り次ぎ、伝言

領域別出題数：ビジネスマナー6問、日本語7問、法的知識2問、コミュニケーション2問、電話応対3問 合計20問
申込先等：長野支部026-223-8619 新潟支部025-211-8381
詳しくはユーザ協会ホームページをご覧ください。
検定試験日：毎月第1水曜日(但し、1月・5月は第2水曜日)



もしもし検定 4級(入門級) 電話応対技能検定

日本商工会議所 後援

もしもし検定4級って？

電話応対エキスパートを目指す層の拡大を図るため、企業及び受験者の負担を軽減し、参画しやすい、マークシート方式の筆記試験のみで選考を行うエントリークラスのもしもし検定です。試験時間も実技無しの40分で完了し、検定料も1,000円(税別)にて受験することができ、ビジネス電話応対に必要なコミュニケーションの基礎知識を有する事ができます。

もしもし検定4級合格者は「おトクがいっぱい！」
3級合格への道がグッと近くなります。
●3級受験のための必須研修の一部が免除！
●3級受験の際の筆記試験が免除！

「もしもし検定」過去問にチャレンジ!!

問題 出典：電話応対技能検定 公式問題集3・4級 発行：日本経済新聞出版社

電話で商品などの説明をするときの、わかりやすい説明の仕方について記したものです。不適切な記述はどれですか。次の中から1つ選びなさい。

1. 「1件名、2結論、3詳細」の組み立てで話す。
2. 「結論は先に、理由はあとで」の組み立てで話す。
3. 「3点法」などを使って、項目に整理して話す。
4. 「起承転結」の組み立てで話す。